

令和4年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告書

名寄市議会では、議会及び議員の活動について理解を深めてもらうとともに、市政全般にわたって、議員及び市民が意見を交換するため、「市民との意見交換会」を年2回開催しています。

今回の意見交換会は、2班体制とし、7月6日、7日の2日間、市内4会場で開催しました。開催に当たり、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示したほか、市内報道機関に対する記事掲載・ラジオ放送の依頼、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し、参加を呼び掛けました。また町内会長をはじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただくなど、ご協力くださいました多くの関係者の皆さんに心からお礼申し上げます。

今回の意見交換会には、延べ65名の参加がありました。ご参加いただき誠にありがとうございました。

ご参加の皆さんからは、空き家対策、公共交通、介護施設の人材確保、教育、議員報酬などに対して、ご意見やご要望などを数多くいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

お寄せいただいたご意見やご要望などについては、正副議長・議運正副委員長が行政に対して、本実施報告書により情報提供を行うとともに、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせします。

今後とも「市民との意見交換会」を開催することで、市民の皆さんとの情報共有を進め、市民の皆さんの貴重な声を政策提言できるよう努めてまいりますので、ご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

結びに、市民の皆さんが将来に希望を持てる名寄市の実現に向け、「市民に開かれた議会」を基盤とし、これからも議会運営及び議員活動の活性化を図ってまいりますので、引き続きご理解、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。



【出席議員の所属体制】

《A班》（担当・・・駅前交流プラザ「よろーな」、智恵文多目的センター）

- ◎東 千春（議長、市民福祉常任委員会委員）
- 倉澤 宏（議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員会委員）
- 高橋 伸典（総務文教常任委員会委員長、議会報特別委員会委員）
- 山田 典幸（経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員）
- 東川 孝義（市民福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）
- 川村 幸栄（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員長）
- 遠藤 隆男（総務文教常任委員会委員、議会運営委員会委員）
- 富岡 達彦（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）
- 三浦 勝秀（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）

《B班》（担当・・・名寄市民文化センター、ふうれん地域交流センター）

- ◎佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員会委員）
- 塩田 昌彦（議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員）
- 高野美枝子（市民福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員）
- 佐久間 誠（経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）
- 山崎真由美（総務文教常任委員会副委員長、議会報特別委員会副委員長）
- 黒井 徹（総務文教常任委員会委員、名寄市監査委員）
- 清水 一夫（総務文教常任委員会委員）
- 五十嵐千絵（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員）
- 今村 芳彦（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）



【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

7月6日（水）駅前交流プラザ「よろーな」参加者30人

◆がん検診での保健センターの対応について

問 車椅子ユーザーが、保健センターでの「がん検診」に申し込んだが、「補助要員の確保が難しい」、「会場には多数の段差がある」、「検診車へ乗るにも段差があるので困難である」などの理由で断られた。今後、同じような身障者の方が、心配も気兼ねすることもなくがん検診が受けられるよう環境を整えてほしい。

答 重く受け止める。今後どのような工夫が必要で、どのようなケアを進めるべきか、市民福祉常任委員会を中心に健康福祉部と協議させていただきたい。

◆選挙の投票について

問 障がいや高齢など、さまざまな困難があって投票に行けない方に対する名寄市の対応について。また、代理人投票はできるのか。

答 期日前投票を市役所庁舎で行っている。車椅子の方には、階段昇降機をご利用いただき、手話が必要な方は、おそらく普段から手話ができる方とコミュニケーションをとっていると考えるが、定かではないので代理人制度と合わせて調べてみる。

要 投票行動をとりたいという意思があるのに行くことができない人もいる。たとえばインターネット投票が可能になったとしても、パソコンやスマホ・タブレットなどが扱えない人もいる。移動投票所の仕組みがあるといいと思う。どんな人にも、安心して投票行動ができる環境を整備してほしい。

◆カーリング場について

問 最近、名寄市でも有望なカーリング選手がたくさん出てきているが、名寄市のカーリング場は通年利用できない。そのため、稚内市や道東まで足を運んでいるので、通年利用を検討してほしい。

答 カーリング場は、道の施設である。北海道の当初の計画が冬季のみになっていることと、夏場の稼働にはさまざまな設備など、整備が必要となるので、通年稼働の可能性は低いものとする。大々的に改修してということであれば可能だと思うが、稚内、道銀ホール北見は、シーズン通してできる場所なので、そこを優先的に活用していくことになるのではないかと。

◆公共交通について

問 夫婦そろって免許証を返納して数年が経過するが、今は市内バスを利用している。路線によっては、目的地に行くのに多くの時間を要することもある。路線の設定変更やバス停の見直し、イオンバスの延長運行など、利用者目線で考えてほしい。

答 運賃、時間帯、バス停の設定に加え、公共交通全般の有効なあり方について、総務文教常任委員会では今期のテーマとして調査研究を進めてきた。実地調査を重ねてきた中で、路線ルート、運賃、バス停の位置などを決めていく上では、なによりも住民主体でバス会社やタクシー会社を含めて議論を深めていくことが必要だと考える。また、議会側も重ねて努力をしていきたい。

◆市内の温浴施設、本屋の減少について

問 今、サンピラーなよろ温泉が改修工事中で、市内に温浴施設がない。市民の中には、家庭の風呂の広さでは入浴が困難だったり、ボイラーの装置の故障など、さまざまな理由によって困っている人がいる。福祉センターの利用が週に2回できるが、夏場は満足できるものではない。サンピラー温泉が再開したとしても、市街地に温浴施設は必要だと思う。他市町では、近隣の温浴施設への送迎をしているところもある。名寄市では、何かそういうサービスがあるのか。

また、大きな本屋がなくなった。他市では、市直営の本屋をつくったと聞く。名寄市でも、直営の本屋を置くことは考えられないか。

答 サンピラー温泉の改修中であり、ご不便をかけていることは承知している。通常時は温泉まで、定期路線バスを無料として行政サービスをしていることをご理解いただきたい。市街地での温浴施設の整備についての要望は多い。行政側は、直営は難しいが民間会社が運営してくれるならサポートすることも検討できると発言している。また、少し先になるが図書館の改築を計画している。複合的、あるいは付帯設備をいろいろ模索しながら、市民が集える空間としての機能を持った図書館になるよう、行政側と共に考えていきたい。

◆出産・育児などによる休暇・休職に対する、市内事業者向けの支援について

問 出産や育児、看護や介護の際の従業員の休暇取得や休職者にかかわって、行政側から事業者へ向けた支援はあるのか。

答 名寄市は「ここで産んで良かった、育てて良かったまち」を目指している。そのためのケアがどこまでできるかを考えていくことは大切になるが、自治体として事業者を支援していく制度は持っていない。改めて何ができるかを考えていきたい。

◆タブレット導入について

問 市議会議員一人に一台のタブレットが貸与されたが、メールで市民から意見を受け付ける考えはないのか。また、それをデータ化して、議員全員で情報共有をして、市政に反映させていく考えはないのか。

答 タブレットを導入したものの、現在試行期間中であり、有効性を高めていくために日々試行錯誤や創意工夫を重ねている。市民の皆さんからのご意見などもデジタル化の中で受け付け、市政に声を届けていく形の議会活動も、検討していきたい。また、これまで同様、地域や近くの議員へ直接ご意見を届けてほしい。

◆市立総合病院外来診療について

要 これまでに受診したことの無い診療科で受診する際、「今はコロナの対応のため受付をしておらず、他の病院の内科で受診いただき、必要であれば市立病院に再度問い合わせしてください」と言われた。新型コロナの感染拡大防止や、外来・入院共に作業量の増加もあって、対応しきれない部分もあることは理解できるが、地域のハブ病院として、レベルの高い医療機能を落とさないようお願いしたい。

7月6日（水）ふうれん地域交流センター 参加者 15人

◆議員提案について

問 これまでに議員提案をしたことはあるのか。また、議員提案があったとすれば事

例を教えてください。

答 前々任期の手話条例が、議員提案としては、最後の条例提案である。

◆議員報酬について

問 議員報酬についての提案が議会からの提案で驚いている。議員が決めるのではなく、市民が議論すべきものではないか。改正する場合には、議員提案になるのか。考え方も含めて教えてください。

答 議員報酬については、名寄市議会が持っている「名寄市議会基本条例」の中には、経済力・地域性・財政力などを勘案して議員が提案する方法と、市民の直接請求の2つが規定されている。もう1つは、市民で構成される名寄市特別職報酬等審議会で審議され市長が提案する方法があるが、提言については持ち帰る。

意 高い低いは別として、第三者の声を優先しながら進めてほしい。

◆空き家対策について

問 町内の空き家の屋根に穴があき飛んでしまったところがある。市と話しをしているが、遅々として進まない。どこまで進んだのか回答もない。どういう条例改正をしたかよくわからないが、行政が率先して空き家対策をしていかないと解決しない。非常に迷惑をしているので、議会としても検討をお願いしたい。

答 空き家とは言え、個人の財産という観点で法律上非常に強く、国で行ってもらわなければならない。しかし、市民にケガや危害を及ぼすなどの切迫性の高い場合、必要最小限の措置をして、費用は所有者からいただくことを条例で定めた。法を犯すことはできないが、法を超えない範囲で、皆さんの期待に応えられるように最大限努力したい。

意 法律や権利なども確かにあるが、それを少し超えるくらいの勢いで対策を行っていくことを議会に求めている。

◆風連地区の水道について

問 真勲別の頭首工からの水を利用している。カルキが少なくなると有り難いが、公害対策委員会の報告書でもわかるように、取水口の部分で大腸菌類が非常に多い。何年も前から、水が少なくなると大腸菌群が多くなり苦慮しているが対策手法が見えてこないと聞く。サンルダムの放水で希釈をしながら環境基準をクリアできるのか心配。

答 基準が決まっていると思うが資料を持ち合わせていないので持ち帰り、担当者も含めて安全な水をどのように供給するのか、しっかり議論しなければならないと思うので、少し研究をさせてほしい。

意 議会として目を配ってほしいし、何らかの対策を検討してほしい。

◆介護人材の不足について

問 風連のケアハウスと名寄の清峰園では、何年も前から介護人材が不足し満床にできないと聞くが、今もその状態が続いているのか。

答 本当に介護人材が不足している。ロボット導入事業38,816千円で介護従事者の負担軽減を図ることや外国人の雇用の動きを進めているが、なかなか難しいところもある。ロボットや外国人に頼らざるを得ない状況になっているが、私たちも市に働きかけ、安全・安心な介護を心がけている。

◆立地適正化計画と公共施設等再配置計画について

問 名寄市の立地適正化計画を見てみると、居住誘導区域は風連地区にも定められているが、都市機能誘導区域が風連に定められていない。都市機能誘導区域が風連に定められていないことについて伺いたい。

答 立地適正化計画で都市機能誘導区域・居住誘導区域を決め、都市計画マスタープランが進んでいる。名寄市として1つになったので、市として全体的な発展を考えて行った時に、どこに何を配置するのか考えていかなければならない。それぞれの地域の持っている歴史的なものや土地の財産が失われないように、いただいた意見は、今後心に留めておく。

意 随時見直しはできることになっているので、ぜひ風連地区にも都市機能誘導区域を設定して、老朽化施設の立て直しにあたっては、風連地区にも必要な施設があれば当然そこに再配置することが可能なまちづくりの計画にしてほしい。

◆公共交通のあり方について

問 東風連地域は少子高齢化ということで、非常に過疎化が進んでいる。忠烈布線の代替バスを利用している。昨年の4月から行き2便（1便増）、帰り1便と増設されたが、時間が決まっているため利用は難しい。高齢化が進む中で公共交通のあり方について、重要な課題と感じている。是非なんらかの保存方法を練っていただきたい。

答 総務文教常任委員会では、路線を増やすということだけではなく、地域と話し合いをし、どのようなバスやデマンド交通、タクシー運行があれば利用しやすいのか、また、地域にも一定程度負担をいただきながら、地域にあった地域交通を考える時代に入っているのではないかと第2回定例会で提言した。議論した成果として、市民の皆さんの期待できる公共交通ができればと思う。

◆コロナ禍における公共施設の利用人数について

問 2年前に市役所から「公共施設の利用について」ということで利用人数が示されているが、全面的に利用者の許容人数を出されると、「利用するな」と言われているような気がする。令和2年に出した内容を改定する予定はあるのか。

答 令和2年の当時と今とでは、公共施設の利用に当たっての注意事項は変わってきている。今は、人と人との間隔を概ね前後1.5m、隣1m、長テーブルの間隔を30センチ以上あけ二人掛けということになっており、部屋の人数などもそこから割り出していくことになる。国からの指針に基づいて進めているので、ご理解いただきたい。

◆災害について

問 水害が非常に危惧される。風連別川で水害が起きると農地の土砂の流出が起きる可能性が非常に多くなっている。そのような中で、水害に対する対策を議会でも考えてほしい。また、高規格道路がこの先完成していくと、水害の危険性が非常に多くなってくる。道路排水が流れ込むなど、流域に住んでいる私たちにとっては、非常に危機感を感じているので、市の方にもお願いしたい。

答 水害については、しっかり受け止めたので、今後心に留め進めていく。

◆教育費のあり方について

問 子ども達に対する家庭での経済的負担が多くなっている。中学校の宿泊研修については、バス代が学校行事にもかかわらず親の負担ということで、非常に疑問を感じている。義務教育の中での教育費のあり方は、名寄市独自の施策があってもよいのではないか。

答 持ち帰りしっかり議論していきたい。

7月7日（火）名寄市民文化センター参加者 16 人

◆公共交通について

問 デマンド交通という言葉は聞いているが、実際どういうことなのかよくわからない。どういう要望が地域からあって、どういうことでデマンド交通が運営されてきたのかを知りたい。また、どんな状況でどんな話し合いがされているのかも聞きたい。

答 デマンド交通について、現在は、風連地区の下多寄地区、日進地区にデマンドバスが導入されている。背景には、路線バスに乗る人がおらず採算がとれないということから、地域の方とやりとりをして形態を整えながら予約型の公共交通という形で運行している。今は、デマンドバスにも乗っている人が少なくなり、大型バスからマイクロバスに代わっている。東風連ではバスよりももっと小さいデマンドハイヤーという形で運行している。

◆福祉分野の人材確保について

問 市長から、外国から来る方も含めて人材確保を地域からも進めていきたいという話があった。実際に市役所や常任委員会の中でそのような話になっているのか聞きたい。

答 特に介護施設の人材が非常に不足しており、令和4年度名寄市各会計予算の新規事業として、介護ロボット導入事業に3,881万6千円を予算計上。外国人材と先ほど言われていたが、名寄市でも外国人材を求めるということで今始まっている。令和4年度6月補正予算での新規事業として、外国人材受入体制整備事業として568万5千円を予算計上し、外国人材を積極的に取り入れる方向で進んでいる。外国人が入ってきて、どのようになるのかということも市民福祉常任委員会で議論をしている。

◆農業振興について

問 名寄の基盤は農業だと言われている。農業が衰退すると商店街も衰退する。どのように農業を守っていくのか、現状維持をどのようにしていくのか、ぜひ議会の中での議論をしてほしい。また、最近農業も変わってきていると感じているので、農業の振興策についても議会の中でいろんな意見ができれば良い。

答 特に風連という地域は、農業の売上げで地域のコミュニティが守られていると感じている。農業の衰退というのは1つのコミュニティが衰退するということにつながると思うので、しっかり守っていく必要があると認識している。

今年度は、第2次名寄市農業・農村振興計画の後期実施計画策定に向けて見直しが行われている。道北なよろ農業協同組合も次期地域農業振興計画中期経営計画の策定を進めている。今回のコロナの状況や燃料の高騰といった様々な状況を踏まえ、

今後の農業をどうしたらよいのか、名寄市と道北なよろ農業協同組合が連携しながら新しい計画の中で、農業を振興できるように進めていくところである。それを推進し、応援したい。

◆商店街の活性化について

問 名寄市の5丁目、6丁目の商店街は、年々店舗数が減少している。今後5年、10年後の商店街に対する考え方を聞きたい。

答 個店主自体が、今後自分たちの営みを自分たちで守るということも大事である。今若手の方たちも空き店舗を利用して起業するという動きも出ている。それに伴う行政の助成制度も出てきている。ご存じの通り人口が年々減少している状況の中、コロナに関して相当打撃があり、この部分については、中小企業振興条例も4月から改正しているので、しっかりとした対応ができるよう議会としても見守っていききたい。

商店街については、今行政で立地適正化計画の中で、都市機能誘導区域を指定して、名寄市のほとんどの公共施設は高度経済成長期に造った老朽化した施設。図書館を筆頭に、そういうところを建て替える時に都市機能誘導区域である中心街にもってこようという構想は1つある。ただ、残念ながら、空き地が市街地にそんなにあるわけではないので、どんな施策を展開していくかというのはわからないが、計画の中では誘導して、公共施設も人も誘導できるような街をつくる。それがコンパクトシティとよく言われる街に仕上がる。そうすると人が集まるので、商店街も発展するのではないかと理論が成り立つと思うが、そこまでするには、相当財力も必要になってくると思う。これからは、議会でも中心市街地の活性化が命題になると思うので、様々な機会で各議員が提言あるいは質問をしていくと思うので、しばらく見守ってほしい。

◆名寄中学校の改築と名寄東中学校の改修について

問 第2回定例会で市長が、名寄中学校の改築に取り掛かるということを表明している。どの程度の規模の学校を想定しているのか。総務文教常任委員会でそういう情報があれば教えてほしい。先に名寄中学校の改築をして、名寄東中学校を先送りして、その間に名寄中学校1校にするという、そんな意向はないのか。

答 昨年度行った耐力度診断テストの結果で、建物の老朽化については、およそ認識いただいていると思う。担当課からは学齢人口の今後の推移に対する説明があり、今後学齢人口が大きく減らないことから、名寄中学校は改築、名寄東中学校は改修という形での提案が出されている。名寄中学校は改築ということなので建て替えることになるが、両中学校を1つにするという議論がなかったわけではない。1つにしたときの生徒が通う通学区域の広さ、様々な観点を考えた結果、このような結論に至ったと説明を受けている。

◆市庁舎の改築について

問 昭和43年に建った市庁舎は、いつまで保つのか。耐震基準にそっているのか。庁舎を新しくする以前に大きな問題を解決してからということになるのだと思うが、大切な職員がたくさんいるので、その辺りのことも少し頭に入れて考えてほしい。

答 ご指摘のとおり、市役所は耐震構造を満たしていない。ただ、なかなか市民の皆さんのニーズとして、今庁舎を立てるとおそらく50億円かかるだろうが、それを

可とすると、図書館や児童センターなど皆さんが利用する老朽化した施設をたくさん抱えている中でつくれるのか。市長は、私の任期中は新しい庁舎は造らないと言っている。今後多額の建築費用がかかるのは、中間処理施設、これが50億から60億円。近々でいうと、認定こども園と智恵文小中学校の改築がある。期待に応える形にはなかなかならないと思うが、限界だと思うので、ことあるごとに意見は言わせてもらう。

◆町内会と議会との意見交換会について

問 先月それぞれの町内会に、議会との意見交換会を町内会単位で開催したいという案内をいただいた。現状でどの程度の町内会が開催を希望しているのか。

答 町内会との意見交換会については、72ある町内会のうち半分に当たる36町内会に打診している。その中で返事が届いていないところが若干あるが、現在希望されている町内会は、3町内会である。少しでも多くの町内会に足を運び、膝詰めで懇談したいと考えているので、これから再度連絡し、改めて開催の意向を確認したいと思っているので、もう少し増えると認識している。

◆チャレンジデーの会場について

問 チャレンジデーの会場が、平成28年度から学校区単位に変更になり、名寄南小学校となった。高齢者の中にはなかなか南小学校までいけない方もいる。エンレイホールの西側には多くの皆さんが集まっていたので、追加していただければ、議会の方からもお願いしてほしい。

答 チャレンジデーは、負け続けていて何とか勝ちたいと思っているので行政と検討したい。

◆ゴミの問題について

問 ノースタウン区のごみステーションがいっぱいになって回収されなくなった。原因は、透明の袋に何でも詰め込む人がいるため。市の方から分別をしてくれと言われたので仕方なくしたが、プラスチックの分別がわかりにくい。新しい処理施設ができれば、少しごみの分別はゆるくなるのか。

答 今度新しい焼却施設ができれば燃やせるものが増えるとも聞いているが、現状は炭化センターを維持しながらやっていかなければならないので、分別が非常に厳しくなっている。コロナの関係で衛生状況からみても厳しくしなければならぬ。また、ゴミの減量化や分別など個々でも努力し、モラル向上はしていかなければならない。一度プラスチックの状態がどのようになっているのか、見せてほしい。

7月7日（木）智恵文多目的研修センター参加者4人

◆不法投棄について

問 春のゴミ拾い時、テレビが捨てられていた。回収したが処理の方法がわかりにくい。

答 本来、お店に持参し、お金を払い処理してもらうのが原則。ゴミ拾い時にあったということで、持ってきてもらい大変ありがたいが、行政で電気製品についてどのように処理をしているのか確認をし、返事をしたい。

◆限界集落の対策について

問 過疎化、少子化は、名寄だけではないと思うので、視察先で限界集落の対策について、何か対策されている事例があれば参考に聞きたい。

答 公共交通の例としてだが、バス自体に人が乗らなくなったという自治体では、そのままではバスを運行できなくなるということで、住民参加型のバス交通を実現した。国の補助も出ているが、不足する分は、地域住民でバス停に広告を出したり、少しでも利用する努力をしていた。

意 地域の善意に頼るのも限界がある。いずれ、その集落ごとを都市部に集めるといふ決断をしなければならない時期がくるのではないか。

◆名寄と風連の合併による効果と検証について

問 合併してから10年が経つが、効果と検証について何か報告がされているのか。それとも、これから報告される予定なのか。

答 良かった悪かったという検証よりも、もっと一体感を求めて、努力していくことの方が大切というような議論をしたと思う。

問 名寄市史の編集が始まっていると聞いているが、その中で少しでも合併の検証のようなことが入っているのか。

答 名寄市史については、作業は進めているということは聞いているが、詳細についてはまだ聞いていない。

◆政務活動費について

問 政務活動費について、年間12万円という予算で、議会活動ができるのか。また、議員定数が2人減るが、市民の声が今後どのように反映されるのか。議員定数が減ってきている中で、さらに名寄市議会を発展させていけるのかを聞きたい。

答 通常は主に視察に使っているが、より多くの個所を視察して、より多くの情報収集をして持ち帰り、市政に反映させるという意気込みで行っている。これからも12万円を有効に使いたいと思っている。議員定数が減って大丈夫なのかという指摘もあったが、研鑽を積みながら、様々な工夫をしながら、議会としても議員としても活動の幅を広げながら、市民の皆さんに迷惑がかからないように努めていきたい。議員報酬のあり方ということでは、政務活動費も今後議論のテーマとなっていくと思っている。

意 個人的には、政務活動費はもう少し上げた方がいいと思う。調査内容等も費用に見合うようにレベルアップをしてほしい。

◆智恵文小中学校の校舎改築の進捗状況について

問 6月に着工するという話だったが、諸事情で延びていると聞くが、いつ事業が始まるのか。

答 資材高騰の影響により遅れている。

令和4年度「市民との意見交換会」アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は53人で、回答率は80.3%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

- ①20代（2人） ②30代（1人） ③40代（3人） ④50代（14人）
⑤60代（5人） ⑥70代以上（28人） 未回答（0人）

問2 あなたの性別は？

- 男（39人） 女（14人） 未回答（0人）

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

- ①初めて（16人） ②2回（6人） ③3回（6人） ④4回（6人）
⑤5回以上（19人） 未回答（0人）

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

- （全体的に）①よかった（28人） ②ふつう（17人） ③よくなかった（1人）
未回答（7人）

- （報告内容は）①わかりやすかった（17人） ②ふつう（24人）
③わかりづらかった（3人） 未回答（9人）

- （意見交換内容は）①よかった（23人） ②ふつう（3人） ③よくなかった（14人）
未回答（13人）

※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ・参加議員全員の発言機会があるといい。
- ・もっと若い人がたくさん参加するような工夫があるといい。（3件）
- ・今回参加して大変有意義な内容の話がたくさんできた。議員の視察等も含めて勉強していることがよく理解できた。そのような内容を公開して市民参加の拡大を図れば市の発展に繋がると思う。
- ・私は耳はいい方だが、音響が悪くて質問内容が聞き取りづらい。声がかもることが多い。選定場所が悪い。
- ・発言する時間が少なくなるので、もっと説明を少なくして簡単に意見をしやすいようにしてほしい。（2件）
- ・説明のページが飛びすぎてどこを説明しているのか分かりづらい。
- ・報告が長すぎる。（2件）
- ・報告書に書いてあることは時短のため口頭説明なしでいいと思う。（障がいのある方がいた場合は要配慮で）
- ・意見交換会ならば報告はせいぜい15分程度にして意見交換時間を獲得すべき。質問者の問題提起も長い。改善すべきことだと思う。配席図のとおり議員が座っていないのはなぜか。市民軽視ではないのか。
- ・一人でも多く出席できるようにしたらいいと思う。何か手立てはないのか。
- ・お茶は冷たい方がいい。
- ・デマンド交通、ペーパーレス、タブレット等、私たちには聞き慣れた言葉も、お年寄りには何のことやらと言われた。多くの人を対象としている意見交換会は、もっと分かりやすい言葉を使うべきではないか。
- ・各町内からの意見が多かった。できれば町内会ごと開催できればと感じた。（2件）日程等調整困難とは思うが各町内会からも意見を吸い上げた方がいいと思う。

- ・市民参加を増す努力をしてほしい。
- ・市民側に風よ自分に吹けと言わんばかりの意見が多かった。

問5 議会だよりはお読みにになりますか？

- ①毎回読んでいる（31人） ②たまに読んでいる（19人） ③読まない（3人）
未回答（0人）

問6 議会ホームページはご覧になりますか？

- ①よく見ている（9人） ②たまに見ている（15人）
③まったく見ない（21人） ④見方がわからない（1人）
⑤見る手段がない（7人） 未回答（0人）

問7 議会議中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？

- ①よく見ている（5人） ②たまに見ている（18人） ③まったく見ない（18人）
④見方がわからない（5人） ⑤見る手段がない（5人） 未回答（2人）

問8 議会を傍聴したことがありますか？

- ①傍聴したことがある（20人）（平均2.8回程度）
②傍聴したことがない（32人） 未回答（1人）

問9 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・市民の意見をどんどん拾ってほしい。
- ・デジタル化の活用は賛成だ。
- ・今回出ていた市民からの意見に議員の皆さんが誠意のある返しをしていたことに感謝する。
- ・議員の皆さんの顔を正面から見ることができ、話を聞き、市民も正面から向き合うことができれば理想だ。タブレットの使い方は安易になるものではないと思う。
- ・意見のデータ化に賛成だ。LINEで市役所と繋がっているので、そこに市民の意見を書けると、こうした会に参加できない人も自分の気持ちを伝えられると思う。
- ・初めて参加したが市民からの意見もあり非常にいい機会だと思った。議員も真剣に考えてほしい。
- ・変な質問をしてしまっても丁寧に応じてもらったので有り難かった。
- ・数多くの意見、要望を取りまとめて地域コミュニティ、住民目線で市政が執り行えるよう努力してほしい。
- ・議員個々も、もっとタウンミーティングとか増やせば名寄市はもっと良いまちになると思う。
- ・市民の意見、要望を議会に反映させてほしい。
- ・デマンドバスに買い物サービス等の付加価値を付け、それに対して補助を出せないものか。
- ・空き家バンクとして今後、空き家になり得る物件の把握。（空き家化の防止）
- ・どんどん研修をして名寄市をよくしてほしい。頑張ってもらいたい。
- ・定数や報酬を削ることが議会改革ではない。議会内での質問や政策立案こそが本分である。現市議会では市長の追認機関にしか見えない。
- ・議員報酬は名寄が一番低いみたいだが自慢にはならないと思う。そこそこ上げて文句はないと思う。
- ・令和5年4月の市議選挙において、2名削減となった。ますます議員に対する期待は高まることになる。議員活動に集中してもらうために報酬額を増加し、現役子育て世帯の方達にも議員活動に集中していただきやすくなればと思う。
- ・近隣の議員間の協議による、この地域の問題について理解を深める必要がある。
- ・市道をもっと整備してほしい。